# 今後の議論の進め方（案）

○　当部会においては、本年10月から検討を開始した「妊娠・出産・産後における診療やケアの内容等に関する検討会」の検討状況を踏まえつつ、出産に必要な診療・ケアの体制や内容等を勘案し、

- 分娩１件あたりの基本単価（分娩費）の給付水準
- 妊婦に対する現金給付（出産時一時金）の給付水準
- 保険料財政への影響
- アメニティ等のサービスの見える化のあり方

について、以下のとおり検討を進め、
妊婦等への周知、医療現場等の準備期間を確保する観点から本年12月頃を目途に成案を得ることとしてはどうか。

◇ 令和８年10月　　議論の進め方の整理

基本単価・現金給付の水準に関する考え方、見える化のあり方について議論

実態調査等の結果を踏まえた給付水準に関する議論

上記のほか、調査研究等を踏まえた経営状況、保険料財政への影響等に関する議論

検討会の取りまとめを踏まえた制度全体像の整理※

◇ 令和８年12月頃　給付水準を含めた制度全体像に関するとりまとめ

※最終的には中医協への諮問を行う。

※検討会における、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を推進するための、分娩取扱施設において必要な支援の内容、支援体制、地域や関係機関との連携状況や地域で安心安全に出産できる周産期医療体制の確保等に関する議論も踏まえ、制度全体像について整理